

まちづくりに関する特別委員会 意見交換会報告

令和3年12月17日(金)

去る12月3日開催の白山市町会連合会との意見交換会について、その概要を報告します。

当日は、白山市町会連合会の小田会長を初め、役員の方、合わせて7名の出席をいただきました。

今回は、先般9月に実施した白山市公民館連合会との意見交換会に引き続き「市民協働で創るまちづくりについて」をテーマとして、意見交換を行いました。その主な内容と意見について述べさせていただきます。

初めに、市民協働で創るまちづくりのメリット・デメリットについてであります。

これまでに、協働推進課の説明を4、5回聞きいているが、なぜ必要なのか、

未だに理解できないため、コミュニティセンター化するメリットや、現状の公民館のままでのデメリットを具体的に示してほしいとの意見がありました。

次に、現在進行中の地区からは、これまでに、何回もモデル地区のやり方を聞いているが、漠然としていて何をやっているのかがよく分からない、先進地へ視察に行ったが、コミュニティセンター化後に人手不足となったところもあり、大変だと感じているとの意見がありました。

これに対し委員からは、先進地の検証をしながら、その結果をこれから進めていく地区に反映させるなど、十分な議論が必要だとの意見が出ました。

次に、現在モデル地区となっている地区からは、部会長がまだ決まっておらず、簡単に進むものではない。メリットは感じないし、令和6年度から28地区で一斉スタートすることは疑問であり、柔軟な対応も必要ではないかとの意見がありました。

これに対し委員からは、スタートにこだ

わらずに進めてもいいのではないか、あまり急がせることのないよう、地区で話し合いをしっかりとしながら進めていけるようにできればとの意見が出ました。

また、白山ろくについては既にコミュニティ組織が全部そろっており、問題なく連携が取れているため、公民館機能を膨らませる必要があるのかとの声や、コミュニティセンター化により、市民サービスセンターの機能が弱くなるのではないか、市民サービスセンターとしてしっかり機能するようにしてほしいとの意見もありました。

これに対し委員からは、行政としての機能をしっかりと果たす必要があるとの意見が出ました。

最後に、市民協働で創るまちづくりに対し、ふるさと納税制度や国の集落支援員制度などを取り入れてはどうかといった意見もありました。

以上、主な意見を述べましたが、ほかに

も現在抱えている悩みや進め方についての率直な提案など、多くの意見をいただきました。

今回の意見交換を通して、改めて地域ごとに感じている不安や大変さを理解することができたほか、進めていく上では、地域の実情にあった組織づくりやステップが必要だと感じました。

令和6年度にコミュニティセンターの一斉スタートを基本にされているようですが、今後は更なる市民への周知や理解を進めた上で、準備の整った地区から順次進めていただくなど、柔軟な対応に努めていただきたいと思います。

以上で意見交換会の報告を終わります。